

自己点検・自己評価報告書

2019年3月31日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2019年3月31日作成

評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	専門職としての深い知識・技術の習得にとどまらず、社会に貢献する医療福祉人材の育成するという理念を定め、学校パンフレット・HPに掲載し、外部への発信をしている。
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	関連業界等が求める知識・技術・人間性等人材要件を明確にし、教育課程・授業計画(シラバス)等の策定をする上で、教育課程編成委員会等を通じて、関連業界等からの協力を得ている。
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	カリキュラムの充実を図るために、講師会等において専任・非常勤講師の情報交換、会議を行い、改善があれば即対応している。
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	将来構想については、学内の教職員間では共有されているが、学生・保護者への周知は不足している。

①課題

・学校運営の将来構想について、更なる周知徹底をしていく必要がある。

②今後の改善策

・将来構想については、学生・保護者等に配布物、インターネット等による周知の機会を設けていく。

(2)学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	理念に沿った運営方針を定めているか	4
理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	経営会議を経て、校長が理事会に事業計画を提出している。
設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	経営会議において学校運営全般の重要事項の審議を行い、教務会議において教務関連事項の検討・審議を行っている。
学校運営のための組織を整備しているか	4	組織図、校務分掌による役割分担に基づいて学校運営を行っている。
人事、給与に関する制度を整備しているか	4	教職員の就業規則、給与規定を定めている。
意思決定システムを整備しているか	4	教務運営では教務会議が、管理運営では理事会が、最高意思決定機関として位置づけられ、各機関で系統的に意思決定を行っている。
情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	業務の効率化を目的とした新たな教務システムの導入を平成31年度に行う。

①課題

平成30年度に導入予定であった新たな教務システムが平成31年度からの導入となった。

②今後の改善策

現在、平成31年度の前期からの導入に向けて、準備を進めている。導入に伴いサーバーのセキュリティー機能を強化している。

(3)教育活動

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めているか	4	社会のニーズに沿った人材育成を行うことを教育理念と掲げ、各学科の養成施設指定規則に則って策定されている。
学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	教育到達レベルは「授業概要」(シラバス)の各科目の授業目標や授業計画に記載し、オリエンテーション及び各授業において明示している。
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程で明確にしている。
教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	教育課程委員会を設置し、外部識者の意見を聞き、改善内容を適宜検討し、講師会議で決定している。
キャリア教育を実施しているか	4	「キャリアデザイン」の授業に取り入れ、キャリア支援課職員と各科教員が意見交換を行いながら、キャリア形成に向けての指導をおこなっている。
授業評価を実施しているか	4	年2回の授業評価アンケートを実施し、教務課を通じ全教員へアンケート結果のフィードバックを行っている。
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価・単位認定等の基準は学則に基づき判定をしている。詳細については、年度始めのオリエンテーション時に学生便覧を配布し説明している。
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	学内では保育技術発表会を開催し、校外の発表としては、関連分野団体が開催する研究発表会への参加を通じて成果の把握をしている。
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	取得目標としている資格・免許についてガイダンス等で説明している。資格・免許の取得のために必要な履修科目はカリキュラム学生便覧等に明記し、学生に周知している。
資格・免許取得の指導体制はあるか	4	学生全員が卒業に必要な資格を取得できるよう、成績不振者には個別対応にて資格取得支援を行っている。
資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	各学科の養成施設指定規則に規定された要件を満たす教員を採用している。また、特定の専攻分野においては、現役の施設長や保育園園長など関連業界等の経験者を採用している。
教員の資質向上への取組みを行っているか	3	教員の専門性を向上させるため、関連業界・団体の研修に参加している。また、校内でも教員の指導力向上を目的とした研修を実施している。
教員の組織体制を整備しているか	4	教員組織・体制に関しては組織図にて明確にしている。毎年、講師会議を開催し専任・非常勤講師間での授業内容・教育方法の統一を図っている。

①課題

- 平成30年度より施行された柔道整復学科、はりきゅう学科の新カリキュラムの円滑な実施。
- 平成31年度より施行されたこども保育学科のカリキュラムの円滑な実施。

②今後の改善策

柔道整復学科、はりきゅう学科、こども保育学科のカリキュラムは、平成31年度まで新カリキュラムと旧カリキュラムが併修されているため、円滑な実施におけるが必要である。

(4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
	就職率の向上が図られているか	4
資格・免許取得率の向上が図られているか	4	昨年度の反省を踏まえ国家試験対策を強化したことで、介護福祉学科は2年連続合格率100%を達成。柔道整復学科、はりきゅう学科は前年度より合格率が上昇した。
卒業生の社会的評価を把握しているか	4	卒業生はキャリア支援課で把握し、在校生は主に担任より情報を得ている。また、同窓会等より情報収集に努めている。

①課題

・卒業生の実態把握については、まだもの足りない状況である。今後もキャリア支援課を中心に実態把握についてはさらに強化が必要である。

②今後の改善策

・卒業生の実態把握については、企業や同窓会との連携を深め、HP、SNS等を活用することにより、さらなる充実を図っていく。

(5)学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	3名の就職支援担当者及び担任を中心とした支援体制を整備している。校内での就職ガイダンスの開催、キャリアプランのカリキュラム化等により支援している。
退学率の低減が図られているか	2	退学率の低減は学校が取り組むべき重要な課題と認識している。個々の学生の変化やつまづきを見逃さないよう問題生徒の個別対応の強化を図っている。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラスごとの担任制を敷いており、学生相談はまず担任が受け、相談内容に応じて、スクールカウンセラーや教務課が対応している。
留学生に対する相談体制を整備しているか	1	留学生が若干名の在籍であるため、特に相談体制は整備していない。
学生に対する経済的な側面に対する支援体制を整備しているか	4	学費の分納制度のみならず、各自自治体の修学資金制度、日本学生支援機構奨学金、日本政策金融公庫の教育ローンの紹介や申請手続きなどの支援体制を整備している。
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	年1回の健康診断を実施している。体調不良者を受け入れる保健室を設置している。
学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	遠方からの入学者は数名のため、提携する企業等の学生マンション等を紹介している。
課外活動に対する支援体制は行われているか	2	課外活動には場所の提供は行っているが、補助金の支給は行っていない。
保護者と適切に連携しているか	3	学生の学力不足・心理面等の問題に対し、担任が学生一人一人の状況に応じて面談を行っているが、必要に応じて保護者を交えて三者面談を行っている。
卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会と連携した卒業後研修の実施をしているが、一部学科での実施に留まっている。
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2	関連業界・職能団体等との再教育プログラムについて共同開発等は行っていないが、関連業界団体と連携、情報交換を行うとともに、要請があれば研修会等へ本校教員を派遣している。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	社会人中心のクラスでは時間割を工夫し、家庭生活、家事・育児と学業の両立ができるように、教育環境の整備を行っている。

①課題

- ・平成30年度の退学者数が増加しており、退学者を低減させるためにさらなる強化策が必要である。
- ・卒業生への再就職やキャリアアップに対する支援は十分とは言えない。

②今後の改善策

- ・退学者数については、前年度より増加してしまった。退学理由の分析を行い、学校の教育活動の改善を行うとともに、スクールカウンセラーやメンターの配置により個々の学生の指導体制を強化していく。
- ・再就職支援については、平成31年度に求人検索システムを導入し、就職情報の提供を強化していく。

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	教育上必要性のある設備については整備されている。また、適正に点検を行い必要であれば設備の更新・補修等を実施している。
学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	学外では指定基準を満たした実習施設を確保している。また、学外実習等の意義や教育課程上の位置づけについては、実習要項に明記しており、適切に運用している。
防災に対する組織体制を整備し、適切に運営しているか	4	防災マニュアルを整備し、防災設備の点検を業者立ち合いのもと実施している。
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	防犯対策やセキュリティについては警備会社に委託している。また電気・水道・空調・エレベーター等の保守は、専門業者に委託し管理を行っている。

①課題

・学生満足度の向上に向けた施設や設備の更新
・防災マニュアルの見直し

②今後の改善策

・設備面でのメンテナンスなど、定期点検をさらに強化して、必要な設備等があれば更新する。
・引き続き、災害時の防災マニュアル等を見直す。

(7)学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	4	高等学校への訪問を定期的に行い、学校説明や学生募集以外に当該高校出身者の学習状況や卒業後の就職状況等も伝え、高校との信頼関係の構築に努めている。また、高等学校が開催する進路ガイダンス等にも積極的に参加し情報提供に努めている。
学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	4	入学パンフレット・募集要項の内容は毎年見直し、カリキュラム・特徴・実態をより明確に周知している。学校説明会等において、教育方針、特色、入試形態、カリキュラム、学費や就職状況等を詳しく説明し適正に行っている。
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	各入試基準は明確化し、募集要項に記載している。
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	入学選考結果を入学後の学力判断資料とし、教務会議等で情報共有し、授業内容や学生指導に反映している
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	学納金は諸状況を勘案し理事会において決定している。同分野の学納金水準は把握しており、同分野の他校と比較して、平均的な学納金の設定となっている。
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	入学辞退者に対する授業料等の返金規定は、募集要項に明示している。

①課題

・少子化、高校生の大学進学志向、就職状況の向上などが顕著である中で、高校新卒生の入学者をいかに確保するかが課題である。

②今後の改善策

・高校3年生のみならず、高校1・2年生へ向けての広報活動を強化し、入学希望者の増加に努めていく。

(8)財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	平成30年度の学園全体として、教育活動収支ならびに教育活動外の収入が、それぞれの支出を上回り、収支バランスが取れている。
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	財務比率については、四半期ごとに学園の経営会議で報告しており、主要な財務数値の推移は、月次で把握している。
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	事業計画や教育目標を検討し、整合性を図っており、中期計画を作成し、予算編成方針に反映している。
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	予算執行計画に基づき適切に執行されている。会計監査を受け、理事会、評議員会で事業報告と決算書の承認を得ている。
私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している	4	監査法人の公認会計士による監査が適時実施されている。
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	情報公開についてはHP上で一般公開している。

①課題

・財務基盤の安定化には、安定した入学者を確保し、かつ、退学者の抑制を図ることが最重要課題である。加えて、経費の見直しや効率化による経費削減に努めていく必要がある。

②今後の改善策

・入学者の安定的な確保とともに退学者抑制の施策の強化を図る。
・付帯教育の強化など、新しい事業展開も検討していく。

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	専門学校の教育に関わる各種の法令及び専修学校設置基準、また、法令等の指定学科にあつてはその指定に関わる基準等を遵守し、適正な運営をしている。
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	個人情報保護規程を整備し、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取り扱いに努めている。
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	関係する諸規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に準拠して実施している。
自己評価結果を公開しているか	3	学校のHP上で一般公開している。
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	学校関係者評価委員会を組織し、学外識者からの意見を収集し教育運営に役立てている。
学校関係者評価結果を公表しているか	3	学校のHP上で一般公開している。
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	学校案内パンフレットやHP等で情報公開をしている。

①課題

・教育情報の公開は一定の水準で実施できているが、外部の意見も積極的に取り入れ改善していく必要がある。

②今後の改善策

・HPのリニューアルを行ったが、教育情報の公開を始め、外部の意見を取り入れ、適時改善を行っていく。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	地域の自治会行事への積極的参加や防災活動において連携をとるなどの地域貢献を行っているが、社会貢献についての顕著な実績を挙げられていない。
国際交流に取り組んでいるか	2	介護福祉学科への留学生の受け入れ以外の交流は行っていない
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2	夏休みや春休みなどにボランティアに参加することを奨励している。また、福祉施設等からのボランティアの依頼に関しては、学生に情報提供をしている。

①課題

・限られた修業年限の中で、ボランティア参加と学業の両立が難しい

②今後の改善策

・ボランティア参加は将来の就業に際しても有益であると考えており、学校としてボランティア参加に対する評価の仕組みを作っていく必要がある。